令和４年度

大刀洗町自分ごと化会議 答申

「歴史ある住宅と城跡の未来」

令和５年５月１１日

大刀洗町自分ごと化会議

目次

1　答申にあたって. 3

2　会議概要. 4

2.1　参加者. 4

2.2　テーマ. 5

2.3　日程等. 6

3　協議内容. 7

3.1　第１回. 8

3.2　第２回. 10

3.3　第３回. 11

3.4　第４回. 15

3.5　提案シートまとめ. 18

4　参考：アンケート結果. 21

4.1　委員アンケート（初回）. 21

4.2　委員アンケート（最終回）. 25

4.3　中学生アンケート. 31

5　参加者一覧. 35

1　答申にあたって

大刀洗町長　中山　哲志　様

大刀洗町自分ごと化会議は、無作為に選ばれた町民同士が町の課題について話し合う場として設けられました。

今回で9年目の取組みとなった本会議に委員として選ばれた私たちは、令和4年11月から令和5年2月まで「歴史ある住宅と城跡の未来」をテーマとして、本郷地区にある佐々木家住宅と三原城址の保存・活用について話し合い、この度、議論された内容をまとめましたので、諮問への答申といたします。

これまで住宅・城址ともに個人所有だったということもあり、初めてその存在を知ったという委員も多くいる中、まずは実際に自分の目で見て感じてどのような保存・活用方法ができるのかと思いを巡らせるとともに、誰かが残したいと思うからではなく、自分たちがそれをどうしていきたいと思うのか「自分たちとしてどうか」という視点で佐々木家住宅/三原城址を残す意義について考えました。

これらを話し合う中で、ナビゲーターからの示唆もあり、佐々木家住宅や三原城址が持つ歴史や文化的な価値は本郷地区ひいては大刀洗町の歴史や文化そのものであるということに気づきました。全国で人口減少が叫ばれて久しい中で、近年、大刀洗町では転入者が増えていると聞きます。この佐々木家住宅や三原城址が持つ歴史的・文化的な意味を継承していくことで、新しく町の一員となった人たちも含め、住民の意識の中に大刀洗らしさや町への愛着が芽生えていくことに今後期待しています。

また、この自分ごと化会議そのものについて、年齢や性別、職業など様々な背景を持つ住民が集まるため、他の委員の話を聞くことで、自分が住んでいる町について初めて知ることや考えさせられることも多く、あらためて大刀洗町のことをもっと知りたいと興味を持つことができました。

これは、今回の協議テーマに限らず大刀洗町をより良くしていくために大切なことだと思います。町のことを「自分ごと化」するきっかけとなるこのような場がこの先も続いていくことを願っています。

令和5年5月11日

大刀洗町自分ごと化会議　委員一同

2　会議概要

2.1 参加者

会議は無作為に抽出された町民を中心として、外部から政策シンクタンク構想日本（コーディネーター）やテーマに関する有識者（ナビゲーター）の協力も得ながら開催されました。

【参加者概要】

委員	町民 27 名
コーディネーター	（論点の整理をする役割） ・　桑子 幹弘 氏（群馬県太田市職員、構想日本外部協力者） ・　田中 俊 氏（構想日本プロジェクトマネージャー）
ナビゲーター	（新しい論点や話題を提供する役割） ・　北島 力 氏（ＮＰＯ法人まちづくりネット八女） ・　片岡 宏二 氏（小郡市埋蔵文化財調査センター所長）
行政	テーマ担当課：地域振興課 事務局：総務課

【無作為抽出による参加状況】

無作為抽出者数	488	人
参加希望者数	27	人
参加希望者率	5.5	%
参加者内訳（年代別）		
10 代	5	人
20 代	2	人
30 代	8	人
40 代	7	人
50 代	2	人
60 代	3	人

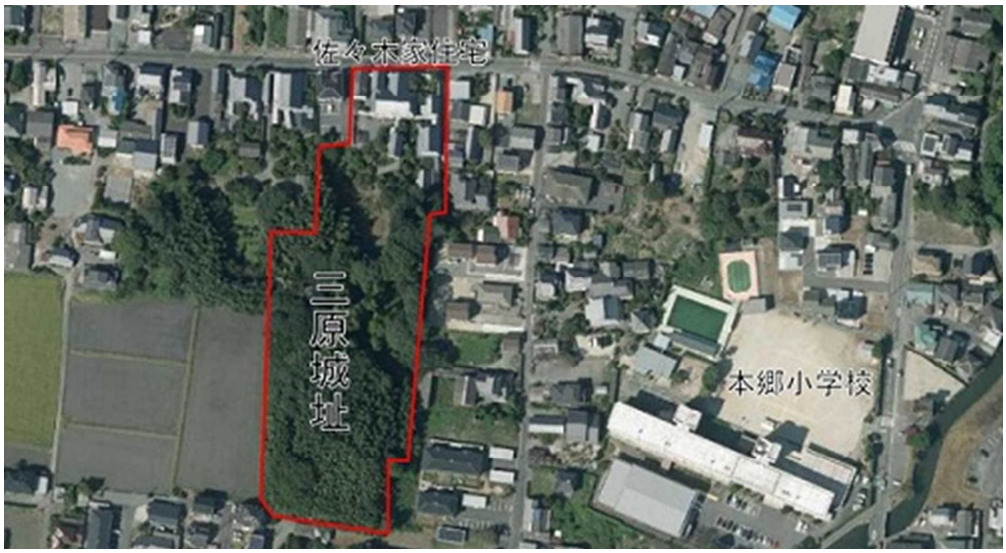
2.2 テーマ

「歴史ある住宅と城跡の未来」

本郷地区にある歴史的な住宅である佐々木家住宅と三原城址※について、現在は個人の所有となっていますが、今後、個人所有ではなくなったときに町の中でその存在意義をどのように捉えることができるか、どのような保存や活用ができるのかということを考えました。また、一連の議論を通して、自分や身近なコミュニティにどう影響し、自分たちがどう関わっていくことができるのかを考えました。

※：佐々木家は、松崎藩（久留米藩支藩）の遺臣が源流で明治時代に養蚕・製糸業で財を成す。家業を縁者に託した後「老後の楽しみとして家屋の建築に数奇を蒐め以って余栄を楽しむ」とし、贅を尽くした住宅を建築。また、屋敷の敷地内に三原城址（1190年?～1586年）があり、同じく個人所有による管理となっている。

（佐々木家住宅ヒロマと庭園）



（位置関係）

2.3 日程等

会議は令和4年11月から令和5年2月にかけて計4回開催され、初回に協議テーマである佐々木家住宅と三原城址の見学をした後、各回の議論は小グループに分かれてのグループ協議を中心に行われました。

【会議日程と各回の実施内容】

回	日程/会場	内容
第１回	令和 4 年 11 月 27 日（日） 大刀洗町役場 3 階会議室 佐々木家住宅/三原城址	・ 自分ごと化会議の趣旨説明 ・ 現地見学 ・ グループ協議
第２回	令和 4 年 12 月 11 日（日） 大刀洗町役場 3 階会議室	・ 前回までの振返り ・ 中学生アンケート結果の紹介 ・ グループ協議
第３回	令和 5 年 1 月 15 日（日） 大刀洗町役場 3 階会議室	・ 前回までの振返り ・ ナビゲーターによる話題提供 ・ グループ協議
第４回	令和 5 年 2 月 19 日（日） ぬくもりの館 1 階会議室	・ 前回までの振返り ・ グループ協議 ・ 全体協議

3　協議内容

全4回の会議では主に次のような内容が話し合われました。

【各回で話し合われた概要】

第１回	**【実際に佐々木家住宅/三原城址を見た印象】** これまで住宅と城址ともに個人所有だったということもあり、初めて存在を知ったという委員も多くいる中、実際に見て感じた佐々木家住宅/三原城址の印象について意見交換しました。 **【誰のための施設と考えるか】** 町にとってどんなものが必要か考え、それは誰の利用を想定するのかという視点で佐々木家住宅/三原城址の利用シーンについて話し合いました。
第２回	**【佐々木家住宅/三原城址を残す意義】** 佐々木家住宅や三原城址が持つ歴史的な価値や文化的な価値を継承していくかということについて、誰かが残したいと思うからではなく、自分たちがそれをどうしていきたいと思うのか「自分たちとしてどうか」という視点で佐々木家住宅/三原城址を残す意義について考えてみました。
第３回	**【ナビゲーターによる話題提供】** テーマに関する有識者として二人のゲストにお越しいただき、あらためて佐々木家住宅/三原城址が歴史的・文化的に地域と紐づいていることを再確認するとともに、新たな視点についても論点提供いただきました。 **【現状からどれくらいの変化が必要か】** 第２回までにいくつかの活用アイデアが出てきました。どのアイデアも佐々木家住宅/三原城址が持つ「歴史的・文化的な要素」をベースとして、そこに「くつろぎ」、「学び」、「遊び」などの新たな要素を加えたり掛合せたりしており、「どんな体験ができるのか」という視点で整理することができました。第３回では、さらに「現状からどれくらいの変化が必要か」という視点で考えてみました。
第４回	**【面的・線的に佐々木家住宅/三原城址を見直す】** 第３回でナビゲーターから示された町並みなどの面的・線的な視点で佐々木家住宅/三原城址の活用シーンについて考えてみました。

	【あらためて自分たちに必要かどうかという基準で考える】 面的・線的という視点で対外的に人を呼び込むような活用シーンを想像してみましたが、あらためて自分たちに必要かどうかと考えると、もっと生活に根付いた活用の仕方の方が自分たちのためになるのではないかという気づきがあり、その中で、コミュニティをつなぐ場所が必要という意見が出ました。普段自分がどういうコミュニティの中で生活しているか、どういうところでコミュニティが生まれているのかなどについて話し合いました。

各回で話し合われた内容について具体的に紹介します。

3.1 第１回

Q　実際に佐々木家住宅/三原城址を見た印象について

これまで住宅と城址ともに個人所有だったということもあり、初めて存在を知ったという委員も多くいる中（知っていた委員：24%、知らなかった委員：76%）、実際に見て感じた佐々木家住宅/三原城址の印象について意見交換しました。

（入りにくさもあるが中に入ると凛とした空気感があり別世界のよう）

- 建物の価値が高そうで興味はあるが、建物の造りが重厚で、一人では入りにくさを感じた。一方で、敷地に入った瞬間、庭や部屋の雰囲気に感動した。空気が澄んでいるように感じる。
- 景色に余分なものが見えないし、外の音もあまり聞こえない。別世界に来たよう。庭も四季を感じられるようなつくりになっている。
- 格好いい鎧や大きな屏風などがあり、建物に飾られているものも雰囲気づくりに一役買っているのではないか。
- もしも個人管理から一般に解放されるとしたら、なるべく建物自体は残した形で雰囲気を壊さずに活用できないだろうか。古民家カフェやコミュニティスペースなど活用アイデアも出たが、建物はそのままにしつつ、敷地の空いた場所に別棟で増設などできれば、元々の雰囲気を保てるかもしれない。

（歴史的文化的がゆえに維持管理することの大変さもありそう）

- 建物も敷地も広いが、きれいに管理されている。一方で、この規模を個人で維持していくのは大変だろうと感じた。
- 一般に開放されて不特定多数の人が利用する施設になった場合には、障子や歴史的なものなど維持や管理に気を遣う必要がありそう。

- 駐車スペースがないので車でのアクセスに難があり、現状のままでは一時に多くの人が利用するのは難しそうだと感じた。結婚式の前撮りなど特定の人が使う施設にしたほうが良いのではないかという意見もあった。

Q　誰のための施設として考えるか

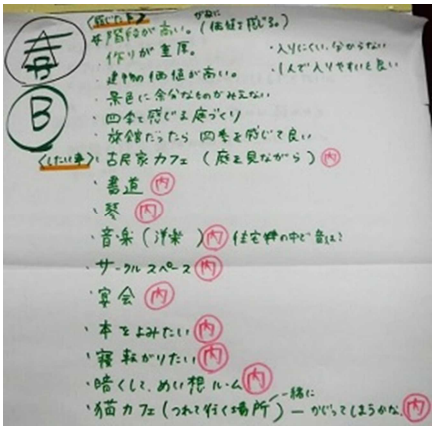
町にとってどんなものが必要かと考えた時に、それは誰の利用を想定するのかという視点で佐々木家住宅/三原城址の利用シーンを想像してみました。

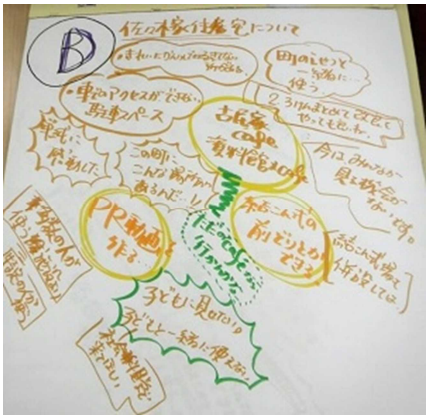
（内向きの利用か外向きの利用か）

- 町にとって大切なものを残したいと考えたときに、町外の人向け（外向き）の利用というよりは地元の子供たち（内向き）に知ってもらいたいという意見が出た。
- 敷地のすぐそばにある本郷小学校の校歌に三原城址が登場するのに、本郷小学校の生徒がこの施設を見たことがないとのことだったので、社会科見学などで見られるようにしてはどうか。
- 古民家カフェのような使い方であれば、町の人も使えるし、その雰囲気の良さが評判となれば外から人が来ることもあるかもしれない。使い方次第で「内向き」「外向き」はどちらにもつながるのではないか。
- 町外の人が利用して「ここに住みたい」と思ってもらえるといいし、町内の人が利用して「こういう町でよかった」と思ってもらえるとよい。大刀洗にはこれがあるといえるものになると、住民が自分の町へ愛着を持つことと、外から人を呼ぶことの両方につながりそう。

（町の人にあまり知られていないのがもったいない）

- いずれにしても地元の人がこの建物を知らないことはもったいない。
- 小学生が家族に教えることによって、大人にも広まり、地域内でも認知されていくのではないか。
- せっかくこの施設を守る活動をしている方々もいるので、そういった人たちの協力も借りて、まずは地域の人たちに周知していけるとよい。





（グループワーク写真）

3.2 第２回

Q　自分たちにとって佐々木家住宅や三原城址を残したいと思うか

佐々木家住宅や三原城址が持つ歴史的な価値や文化的な価値を継承していくかということについて、誰かが残したいと思うからではなく、自分たちがそれをどうしていきたいと思うのか「自分たちとしてどうか」という視点で佐々木家住宅/三原城址を残す意義について考えてみました。

（佐々木家住宅/三原城址の歴史 ≒ 本郷地区や大刀洗町の歴史）

- グループ内では、佐々木家住宅を残したいという意見が大勢だった。特に新しく転入してきた人たちにとって、「大刀洗といえば○○」というイメージがない中で、歴史のある佐々木家住宅と「大刀洗とはこういうものだ」ということをうまく結びつけられないだろうか。
- 佐々木家住宅の歴史が本郷地区の歴史でもあり、まずは本郷地区の住民の意見を聞くことも大事なのではないか。
- 活用方法について、現在にあったカフェなどは思い浮かぶが、将来的にみるとどうなのだろうか。中学生のアンケート（※4.3 中学生アンケート参照）を見るとこのままの形で維持してほしいという意見も出ている。次世代を担う子供たちの意見も踏まえてみても、形を変えていくのはどうなのだろうかと考えてしまう。
- 残すものと変えるものとの判断が重要。本当に残したいところはどこなのかを考える必要があるのではないだろうか。一方で、人の足を運ぶようなものが出来なければ、残すにしても勿体ないのではないかとも思う。
- 世界の魅力的な小都市ランキングで、糸島が世界３位になっていたのを見たことがある。糸島に負けないような何かが出来ないか。佐々木家住宅と三原城址には歴史があり、対外的に発信するためにも佐々木家住宅を活用できないだろうか。

（協議メモ写真）

3.3 第３回

Q　ナビゲーターによる論点提供

第3回ではテーマに関する有識者として二人のゲストにお越しいただき、あらためて佐々木家住宅が歴史的・文化的に地域と紐づいていることについて再確認するとともに、八女市での古民家再生、修景事業の実践例を基に佐々木家住宅/三原城址を単独で考えるのではなく、本郷地区や前を通る街道など面的・線的に捉えるという新たな視点についても論点提供いただきました。

【片岡　宏二　氏　/（小郡市埋蔵文化財調査センター所長）】

（地域の歴史を残す）

- 旧家など格式の高い家は敷居が高く感じられ、周りの人からすると少し距離感を感じるが、佐々木家の歴史は、本郷の歴史そのものであり、町の歴史とも深く紐づいている。

- 建物が立派だから価値があるというわけではなく、佐々木家住宅が町や地域の歴史と紐づいているから重要と言えるのではないか。
- まずは建物を残すことに意義がある。佐々木家住宅は地域の歴史を残す意味合いからも是非残してほしい。

（50 年後、100 年後を見据えた保存や活用）

- 小郡市の平田家住宅の事例でも、当初は、カフェや宿泊施設など様々な意見が出たが、結局「建物の意味を残す」という方向に議論が収束していった。
- 50 年後、100 年後を見越した視点で考えてほしい。

【北島 力 氏 / NPO法人まちづくりネット八女】

（町並みとして面的、線的に考えるとどうか）

- 八女福島は歴史的に町民を住まわせた町で、町家が多く残っており、町割りそのものが保存地区になっているが、伝統建築技術の後継者の減少と空き家の増加は大きな課題であった。
- 1つの町家が潰されれば町並みの価値が1つの町家分下がる。
- 建物個別の修理ということに加えて、町並みを整えるという修景を行うことによって、町並みの景観を蘇らせることが出来た。
- 佐々木家住宅と三原城址が本郷地域にあり地域の歴史と深く結びついているということであれば、建物自体をどうするかに加えて、本郷地域自体をどうするかを考えることも重要ではないか。

（それぞれの得意分野で町づくりに参加）

- 空き家情報の提供や住民の意見収集を担う「住民組織」、地元の町並みデザインを考慮しながら建物の設計や施工を行う「地元の建築集団」、移住希望者等のサポートを行う「まちづくり団体」 など多様な主体が連携してまちづくりを推進した。
- 行政出身で現在は引退している自身のNPOは、行政が出来ることと、住民が出来ることがあると考えて、両輪で回していくという活動を開始した。

Q　現状からどれくらいの変化が必要か

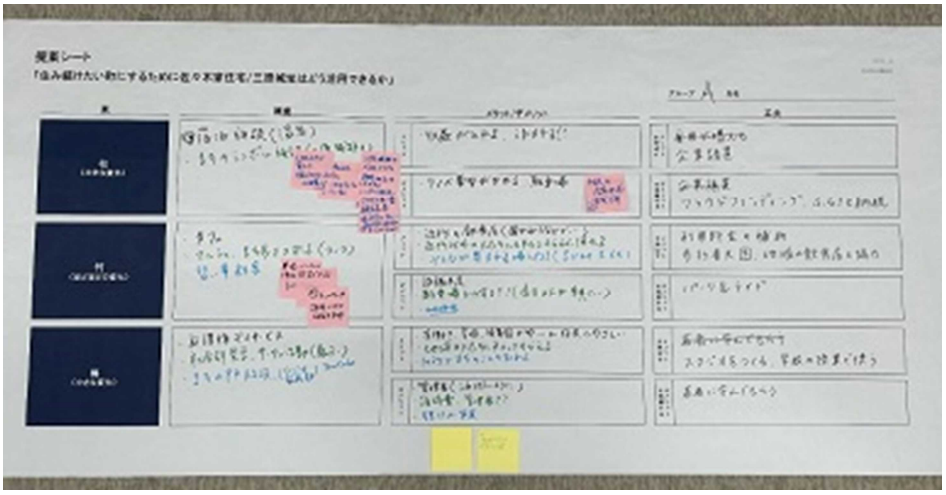
前回までにいくつか佐々木家住宅/三原城址の活用アイデアが出てきました。どのアイデアも佐々木家住宅/三原城址が持つ「歴史的・文化的な要素」をベースとして、そこに「くつろぎ」、「学び」などの新たな要素を加えたり掛合せたりしており、「どんな体験ができるのか」という視点で整理（「3.5 提案シートまとめ」参照）することができました。第3回では、さらに「現状からどれくらいの変化が必要か」という視点で考えてみました。

（使うことを恐れなくていい）

- 小学校や中学校の社会科見学の学習場所として使うというアイデアは、建物を維持管理程度でそのまま保つだけで、大きな変化は必要ないというメリットがありそう。また、現在は本郷地区の方にしか知られていないが、子供を介して大人にも情報が伝わり大刀洗全体でも佐々木家住宅と三原城址の認知度が上がる。ただ、佐々木家住宅や三原城址、町の歴史などについて子供たちに教えることができる語りべが必要。
- 歴史的な建物の良さを生かしつつ、ホームステイできるようにして、子供たちを中心に異文化交流ができる施設とするアイデアがあった。宿泊できるように変化させることは必要だが、子供たちが地元の文化を知りながら、グローバルな視野も持てるようになる。ただ、子供たちの利用という点で騒音や破損は心配。
- （ナビゲーター北島氏より）文化財活用について、意図的に柱に傷をつけるなどはしないように子供たちに働き掛けるなどは必要だが、使うことをあまり恐れないでいいのではないか。建物は使えば劣化していくものなので、ある程度はしょうがない。カフェなどにする際には、水回りなどは建物に付随して新しく作るという発想の方が良いかもしれない。後で増築したほうが、建物本来の価値を守る上で良い。

（変化にかかるコスト）

- 宿泊施設だったりカフェだったり、何かに活用するためには少なからず変化が必要でコストがかかる。
- 初期投資や維持管理も含めて、どうやって収益を確保していくかということを考えると宿泊施設などで利用者から利用料を取ることも考えられるのではないか。
- ふるさと納税やクラウドファンディングなど大刀洗に住んでいない人からの支援も考えられる。そのためには大刀洗の出身者や外の人に向けて佐々木家住宅/三原城址をPRする必要もありそう。町のSNSを使った発信なども積極的にしていいのでは。



（グループワーク写真）

（協議メモ写真）

3.4 第４回

Q　面的・線的に佐々木家住宅/三原城址を見直す

前回ナビゲーターから示された町並みなどの面的・線的な視点であらためて佐々木家住宅/三原城址の活用シーンを想像してみました。

（面的・線的に考えると人を呼び込むことには有効そうだが…）

- 線的な利用として、観光ルートのスポットの一つとして利用したり、立ち寄ってもらえるポイントにしてはどうか。いちご狩りのツアーや酒蔵のツアーにすることで、人を呼び込むことができる。面的・線的という視点で考えると、自分たちのためというより人を呼び込むような対外的な活用シーンがしっくりくるように思った。
- （傍聴に来ていたナビゲーター片岡氏より）ボランティアの人々で佐々木家住宅を掃除するなど地道ながら活動している。活動を続けていると、人との関わりが出てくる。そして地図を作ってみようとか、外に向けた活動が生まれる。一方で、外からもっと人を呼び込むことが本当に幸せなのかどうかというジレンマに陥る。いまの立場で取り組んでいると外から人を呼び込むことが良いことなのか考えさせられる。佐々木家住宅のような歴史的な住宅は全国どこにでもあり珍しくはない。だけど本郷に一つしかなく、地域の人たちが作り上げていくということがとても大事なように思う。
- 対外的に人を呼び込むための活用ということであれば、若者向けの映えスポットとしての活用を考えたが、あらためて自分たちに必要かどうかという基準で考えると生活に根付いているものとしてコミュニティをつなぐ場所がいいのではないかという話になった。
- いま、コロナ禍で子供たちも人とのコミュニケーションが減っており、特にいろいろな世代と関わる機会が失われている。自分たちのためということを考えると佐々木家住宅がいろいろな世代の人と関われる場所になればと思う。

Q　あらためて自分たちに必要かどうかという基準で考える

面的・線的という視点で対外的に人を呼び込むような活用シーンを想像してみましたが、あらためて自分たちに必要かどうかと考えると、もっと生活に根付いた活用の仕方の方が自分たちのためになるのではないかという気づきがあり、その中で、コミュニティをつなぐ場所が必要という意見が出ましたが、普段自分がどういうコミュニティの中で生活しているか、どういうところでコミュニティが生まれているのかなどについて話し合いました。

（コミュニティをつなぐ場所）

- ふれあいセンターにゴミステーション（MEGURU STATION）が作られたが、毎週行っている。ステーションにボランティアの人が居て、子供の手が届かないときに手伝ってもらったり、お菓子をもらったり、薪ストーブの前に集まって話したり、毎週行くので、子供たちの顔も覚えてもらい、地元の人たちとのつながりが出来てきている。苗を植える体験会とか、収穫した野菜をつかってピザ会もあったりして楽しかった。ボランティアのおじいちゃんおばあちゃん世代の人と会話して帰るようになっている。結構、週末にそういう場があるのは良い。
- 自分が使うとしたら、家族で集まれる場所として公園のように整備してもらえたらみんなで過ごせる場所が出来るのではないかと思う。子育てをしていると子供連れで行ける店もあまり多くない。また、コロナ禍で友達の家に集まるということも出来なくなり、みんなで子供たちと集まれればいいなと思う。
- 友達が大刀洗公園の近くに住んでいるので、ウォーキングコースを歩きながら友達と会話をしたりする。
- 親族とお正月を過ごしたが、孫たちと大刀洗町公園に行った。

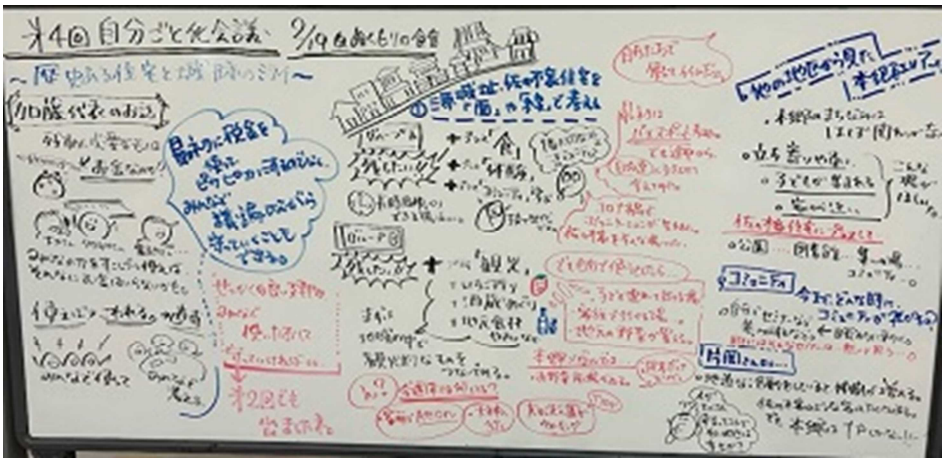
（MEGURU STATION など他のコミュニティをつなぐ場所との差別化）

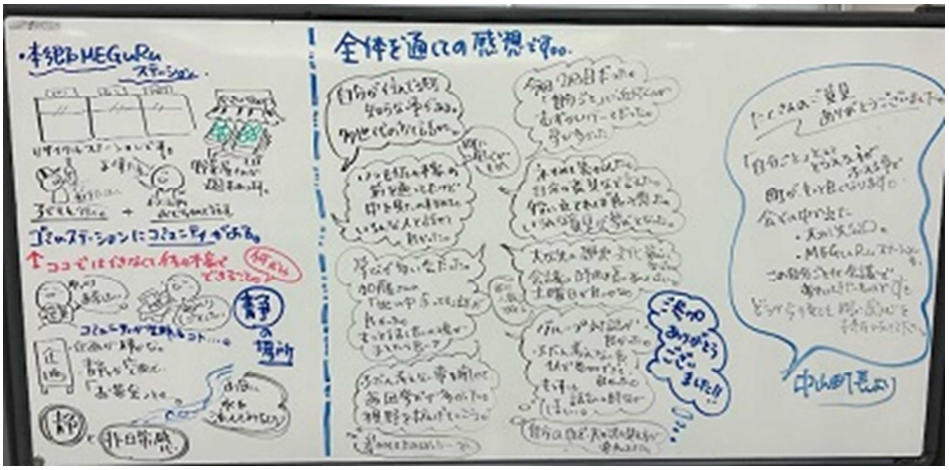
- 佐々木家住宅のヒロマや庭を有効活用できないか。例えばお茶会をするのもいいかもしれない。学童で働いているが、子供たちとお茶会をしたことがあった。「小さい子供でできるだろうか？」と最初は心配だったが、お茶の先生の言う通りに子供たちが神妙な面持ちで取り組んでいて、新鮮だった。場の持つ雰囲気が子どもたちにも伝わったのかもしれない。
- 我が家の子供 3 人の年齢が離れているので遊びに連れていく場所が難しい。小さい子は公園、年上の中学生の子は静かな場所が良かったりする。上の子は騒音がダメでストレスになったりするので、佐々木家住宅の静かさは落ち着いた雰囲気で良さそう。家族という小さなコミュニティが家以外に皆で一緒にいられる場となるかもしれない。
- 日常的に忙しくて、下の子も発達の障害があったりするので、ショッピングセンターに行ってもどっと疲れる。佐々木家住宅に最初に行った時の「しずかだなぁ」というところで癒されたい。

（自分たちでできること）

- コミュニティの場にするにも何かしら”必ず行う何か”に付随しているので、企画が必要ではないか。私たち自身で、地域がどのようなものを必要としているか自分ごととして考えてみたり、積極的にいろいろなイベントに参加したりできるとよい。また、行政も地域で必要とされていることを調査して企画を上げるなどできるとよい。

・	コミュニティをつくる場としても管理が必要。自分たちや地域で掃除をすることなどで協力できるかもしれないし、関わることでこの建物に愛着が湧くかもしれない。
・	いずれにしても大刀洗の真ん中にあるのに知られていない。私たちは、自分の周りの人に周知していく（話していく）ことができるし、行政は広報紙に載せる、町のSNSで発信するなどPRできるとよい。





（協議メモ写真）

3.5 提案シートまとめ

会議の中では、具体的な活用案やその活用案に対して自分たちがどう関わることができるかという視点で各自の意見を提案シートにまとめたので、その内容を整理して紹介します。

■くつろぎ/癒し

活用案	自分たちの関わり方 / 町への影響や課題など
【宿泊施設】 居住型のホテル キャンプ場（グランピング）など	【個人、地域などの身近なコミュニティにできること】 ・ 存在意義を周知する ・ 地域一体となって魅力度アップの取組に協力する
	【行政にできること】 ・ 町並みを整えて歴史的な価値を高める ・ 周辺地域と連携する ・ 駐車場を整備する ・ 指定管理制度の活用を検討する
	【町や普段の生活への影響/課題など】 ・ 大刀洗町ってどんなところと聞かれたときに説明しやすくなる ・ サービス利用者が維持費を賄う仕組みなど収益が取れる ・ 移住者増加につながるかもしれない ・ 観光地化にもつながり交通量が増える
【くつろぎ空間】 古民家カフェ 読書ができる空間 大人がくつろいだりゆっくりできる空間 など	【個人、地域などの身近なコミュニティにできること】 ・ 雰囲気を楽しむ
	【行政にできること】 ・ 建物の管理 ・ 民間事業者に委託する
	【町や普段の生活への影響/課題など】 ・ 近所以外の人も使い、大人も子供も皆が集まる場所になる ・ コミュニティが広がる
【散策スポット】 庭園など散策してゆっくりできるようなスポット 街歩きの際の拠点 など	【個人、地域などの身近なコミュニティにできること】 ・ 身近な範囲で周知する
	【行政にできること】 ・ 建物の管理 ・ 民間事業者に委託する

■交流/刺激/創作

活用案	自分たちの関わり方 / 町への影響や課題など
【異文化交流】 ホームステイ施設 日本文化に興味のある外国人と異文化交流できる場所 など	【個人、地域などの身近なコミュニティにできること】 ・ 子育てするうえで、子供に地元の文化歴史だけでなく、グローバルな視野を持たせる
	【行政にできること】 ・ 海外などからも興味を持ってもらえるよう周知する
	【町や普段の生活への影響/課題など】 ・ 田舎に住んでいながらも外への興味を持つ子供たちが増える ・ 育った子供たちが、その後も育った町へ何らかのかかわりができるようになるとよい
【コミュニティ施設】 コミュニティをつなぐ場 公園 など	【個人、地域などの身近なコミュニティにできること】 ・ 家族や周りの人との時間を大切にする ・ 身近な知合いに佐々木家住宅を教えて広める ・ コミュニティが生まれるような企画を自分ごととして考える ・ 掃除などに協力する ・ イベントへの参加
	【行政にできること】 ・ 大刀洗町以外の施設でコミュニティ場所があったら参考にする ・ 城址の周りにお店を作ってくつろげる場所にする ・ 広報紙に載せる、町のSNSで発信するなどPRする ・ 何が必要とされているか調査してイベントなどを企画する ・ 敷地内の整備のために助成する。 ・ 地域の人への協力依頼
	【町や普段の生活への影響/課題など】 ・ コミュニティの場にするにも何かしら”必ず行う何か”に付随しているので、企画が必要 ・ 人を迎え入れるにあたって入りづらい（駐車場がない） ・ コミュニティをつくる場として管理が必要
【イベント、PR拠点】 プロジェクションマッピングなどのイベント利用 町の PR 拠点施設 など	【個人、地域などの身近なコミュニティにできること】 ・ 利用者などでの清掃
	【行政にできること】 ・ 民間企業との連携
	【町や普段の生活への影響/課題など】 ・ 多くの人（多様な人材）をイベントなどで取り込める ・ 歴史を身近に感じる

■学び/学習

活用案	自分たちの関わり方 / 町への影響や課題など
【資料館】 そのままの状態を残した資料館 本郷町の歴史ツアー拠点 など	【個人、地域などの身近なコミュニティにできること】 ・ 町の歴史に関心を持ってもらうよう身近な人に話す ・ 清掃などちょっとしたボランティア活動に協力する
	【行政にできること】 ・ 学校の授業で使う ・ パンフレットの作成
	【町や普段の生活への影響/課題など】 ・ 大刀洗町のことを知る人が増える
【子供たちの学び場】 社会科見学への活用 子供たちが町の歴史と未来を学べる場所 学生が集まることができるスペース 学習スペース など	【個人、地域などの身近なコミュニティにできること】 ・ インスタグラムに投稿してみる ・ 若い人にもっと知ってもらうよう周知する ・ 建物自体知らない人が多いので周知する
	【行政にできること】 ・ 修学旅行やホームステイの受入れ ・ 農業体験や民泊の推進 ・ 町が維持管理する
	【町や普段の生活への影響/課題など】 ・ 大刀洗町のことを知る若者が増える ・ 子どもを通して大人にも周知できる

■買い物/消費

活用案	自分たちの関わり方 / 町への影響や課題など
【物産/マルシェ】 町の物産を扱う道の駅 マルシェ など	【個人、地域などの身近なコミュニティにできること】 ・ 生産品の提供、販売
	【行政にできること】 ・ 民間企業へ委託 ・ ツアーを組んだり、町の観光大使を利用したりしてPRする ・ 町の生産者の協力を依頼する
	【町や普段の生活への影響/課題など】 ・ 近所の飲食店もにぎわう ・ 収益を得られる

4　参考：アンケート結果

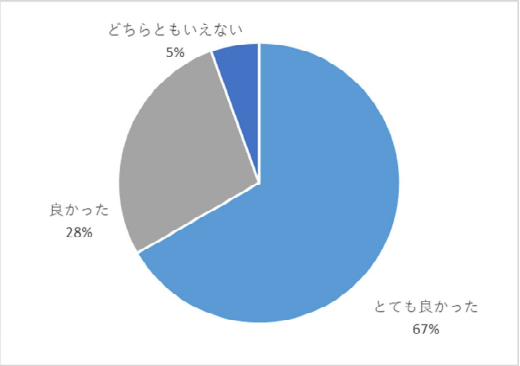
会議の初回と最終回に委員を対象としたアンケートが実施されました。
また、会議とは別に、大刀洗中学校の生徒を対象に、佐々木家住宅や三原城址、大刀洗町に関するアンケートが実施され、会議の中で紹介されました。
その結果について、それぞれ参考までに紹介します。

4.1 委員アンケート（初回）

対象者：自分ごと化会議委員
回答数：18

1.　会議に参加してみていかがでしたか。

回答	件数
とても良かった	12
良かった	5
どちらともいえない	1
あまり良くなかった	0
良くなかった	0
計	18



2.　自分ごと化会議に参加しようと思った理由や会議に期待することは何ですか。

（町について）
- あまり大刀洗のことを知らないので、知りたいと思った。
- 子供のために住みやすい町、安全な町になるような関わりができたらと思った。
- 自分の意見がまちづくりに少しでも役に立てるとこの町のことをより好きになれると思った。
- この先もこの町に住むのであれば、町のこと（資源や税金の使い方）を知っておく権利があると思った。

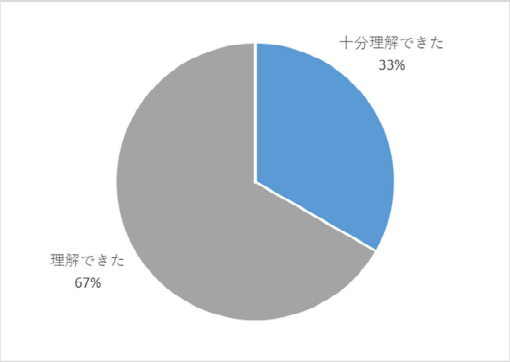
（会議について）
- 会議自体に興味を持ち参加しようと思った。

（一部抜粋）

3.　テーマ「歴史ある住宅と城跡の未来」についてお答えください。

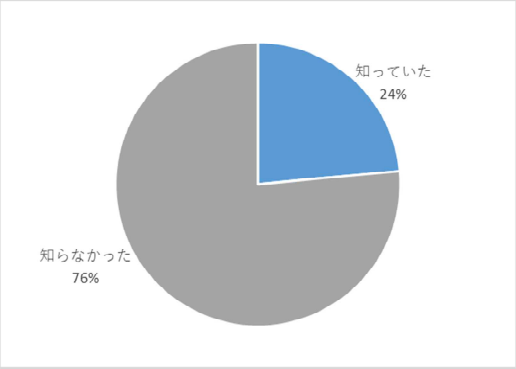
①　テーマの内容は理解できましたか。

回答	件数
十分理解できた	6
理解できた	12
どちらともいえない	0
あまり理解できなかった	0
まったく理解できなかった	0
計	18



②　佐々木家住宅、三原城址について知っていましたか。

回答	件数
知っていた	4
知らなかった	13
計	17



③　佐々木家住宅や三原城址を見学して、どんなことが印象に残りましたか。

（建物等の雰囲気について）

- ゆーっくり過ごしてみたい。
- 外界と別空間になっている。
- 外の音（道路を走る車の音など）が聞こえず、とても静かで素敵な空間。
- どこか違う世界観があり落ち着いた。
- 厳かな雰囲気だった
- 外から見ると住宅とは分からない。

（活用や保存について）

- 中に入るとすごく風情があり、町として大事にしなければならない資源だと思った。
- とても歴史ある建物だと思った。維持費が大変だと思った。

（知名度や周知について）

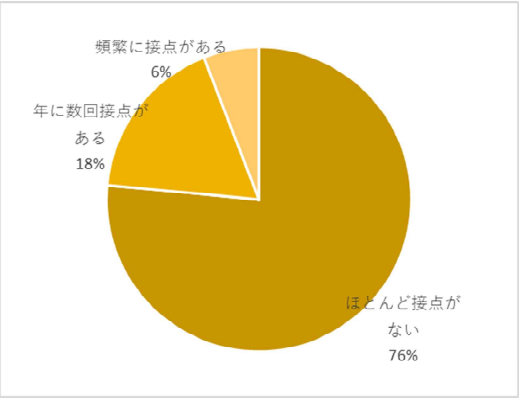
- もっと色々な人に存在を知ってほしいと思った。
- 大刀洗に城跡があること自体初めて知った。地域の方にもっと周知されたらと思う。
- こんな風情があるところが大刀洗にあることに驚いた。

（一部抜粋）

4.　あなた自身のことについてお答えください。

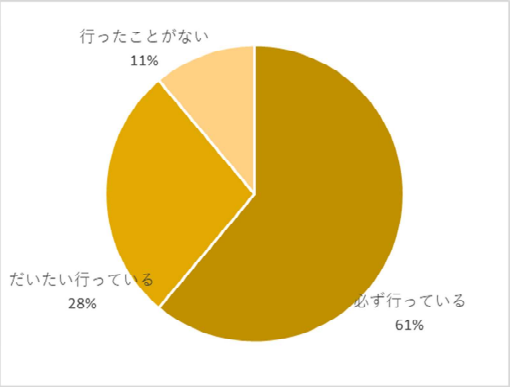
①　これまで行政とどの程度の接点がありましたか。

回答	件数
ほとんど接点がない	13
年に数回接点がある	3
頻繁に接点がある	1
その他	0
計	17



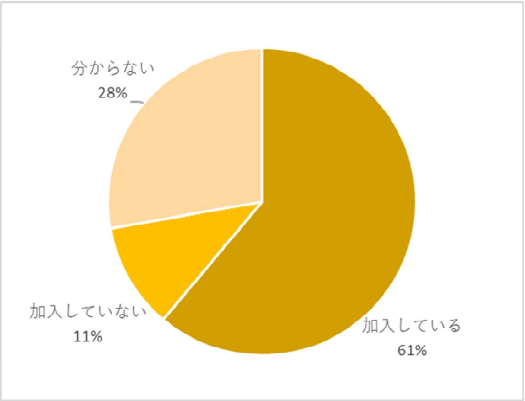
②　選挙の投票にはどの程度行っていますか。

回答	件数
必ず行っている	11
だいたい行っている	5
ほとんど行かない	0
行ったことがない	2
18 歳未満で選挙権がない	0
計	18



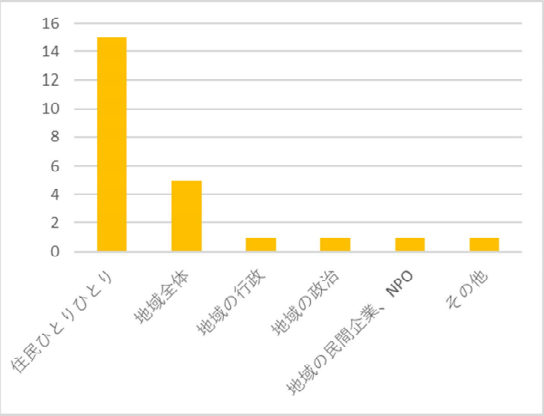
③　地域の自治会には加入していますか。

回答	件数
加入している	11
加入していない	2
分からない	5
計	18



④　町を住みやすくするために最も主体的に行動すべきだと思うものは次のうちどれですか。

回答	件数
住民ひとりひとり	15
地域全体	5
地域の行政	1
地域の政治	1
地域の民間企業、NPO	1
その他	1



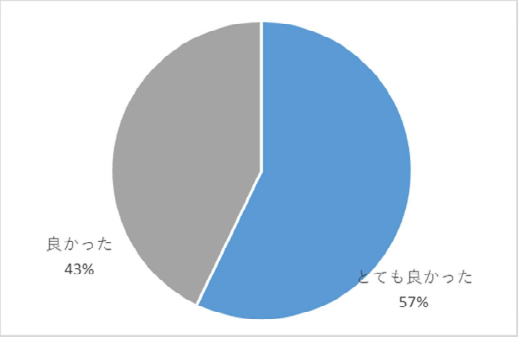
4.2 委員アンケート（最終回）

対象者：自分ごと化会議委員

回答数：8

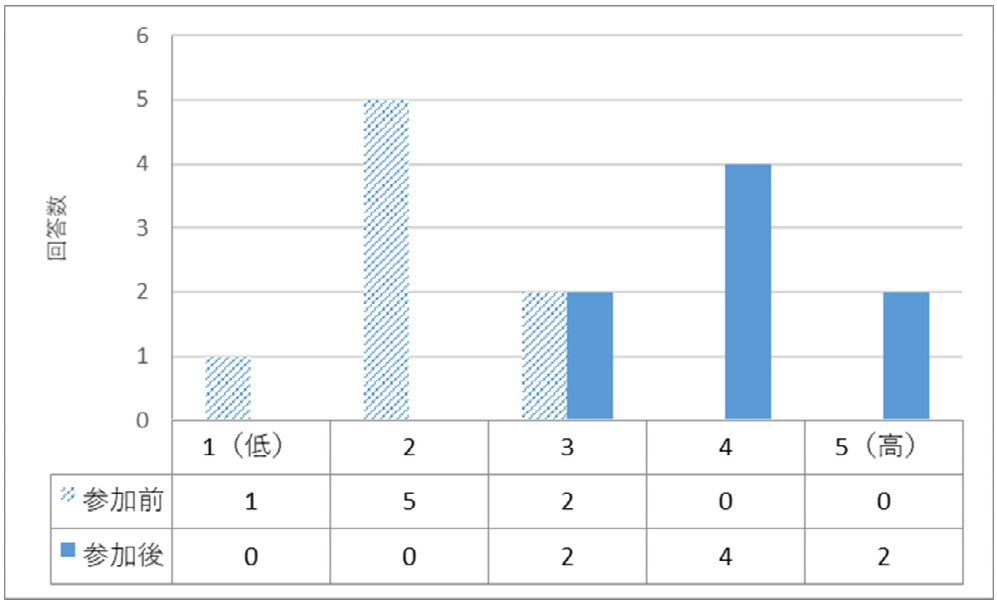
1.　会議に参加してみていかがでしたか。

回答	件数
とても良かった	4
良かった	3
どちらともいえない	0
あまり良くなかった	0
良くなかった	0
計	7

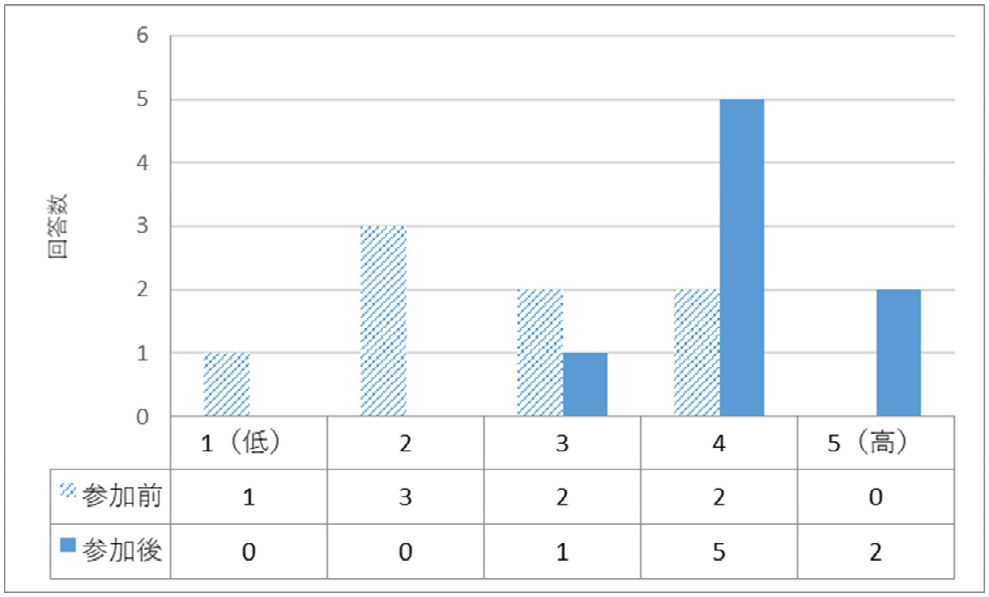


2.　自分ごと化会議に参加した前後で、あなたの税金や行政・議会への関心や地域づくりに関わる頻度など変化はありましたか。

①　税金の使い方への関心

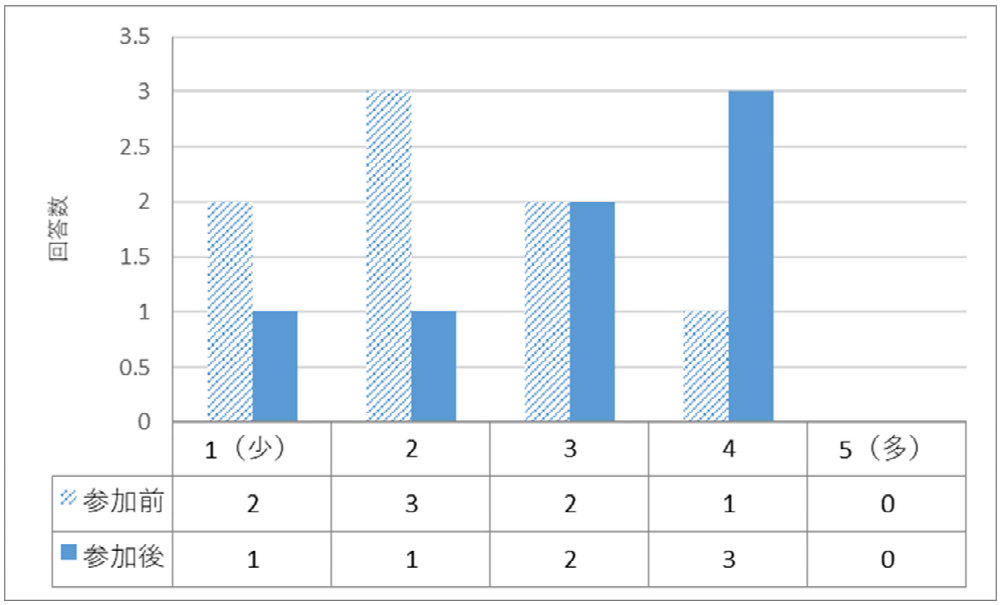


② 行政や議会の情報への関心（広報紙・HP や議会の傍聴等）



	1（低）	2	3	4	5（高）
参加前	1	3	2	2	0
参加後	0	0	1	5	2

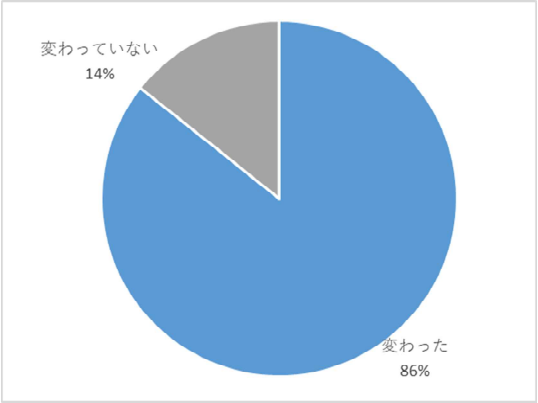
③ 自治会、ボランティア等地域づくりに関わる集まりに参加する頻度



	1（少）	2	3	4	5（多）
参加前	2	3	2	1	0
参加後	1	1	2	3	0

3.　自分ごと化会議に参加したことで、意識に変化はありましたか。

回答	件数
変わった	6
変わっていない	1
分からない	0
計	7

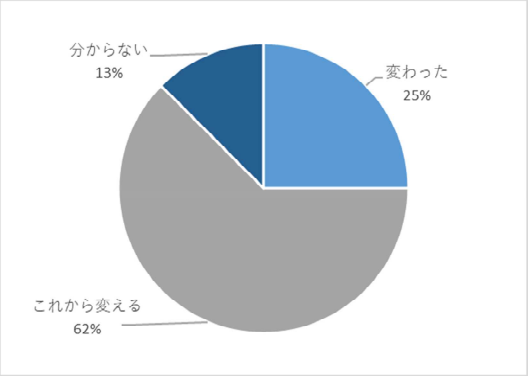


（具体的な意識の変化）

- 町政に対してどのような活動、事業を行っているか関心が高まった。
- 自分ごととして意識して、少しでも自分にできることや発信できることはしていきたい。
- 色々な世代の人の意見を聞くことができ、城址を残したいと思った。
- 大刀洗町のことを知りたいと思った。他人事ではなく、自分事として捉えていきたい。
- 物の捉え方が変わった。次世代に何を残すか、自分の人生の時間だけの使い方にとどまらず、広い視野で考えていこうと思った。
- 大刀洗町に佐々木家住宅、三原城址があることを再認識できた。

4.　自分ごと化会議に参加したことで、行動に変化がありましたか。

回答	件数
変わった	2
これから変える	5
変わっていない	0
分からない	1
計	8

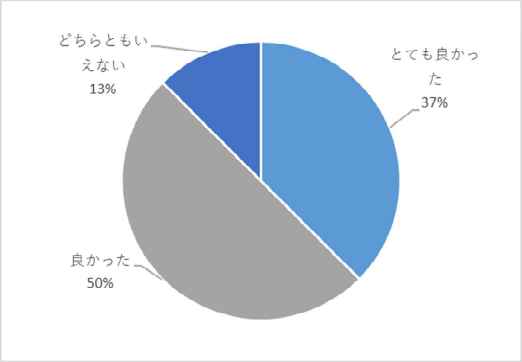


（具体的な意識の変化）

- 町のイベント等に積極的に参加したい。
- 普段の生活の中で大刀洗の見方が変わった。
- 他人事だと思わず、自分事だと思って考える。
- もっと町の人と協力していきたい。

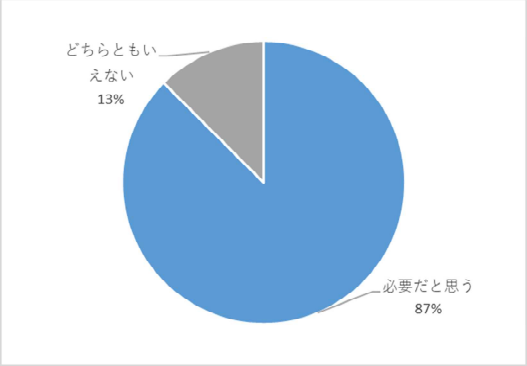
5.　今回のテーマ「歴史ある住宅と城跡の未来」は、住民が考える内容として、どう思いますか。

回答	件数
とても良かった	3
良かった	4
どちらともいえない	1
あまり良くなかった	0
良くなかった	0
その他	0
計	8



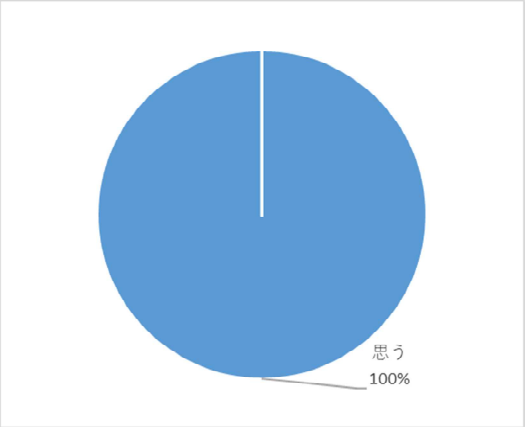
6.　今回の会議のように、無作為抽出の手法を使って議論していくやり方についてどう思いますか。

回答	件数
必要だと思う	7
必要だと思わない	0
どちらともいえない	1
計	8



7.　今後、住民同士で、町の重要課題について議論・意見交換し、町へ改善提案できる場があれば参加したいと思いますか。

回答	件数
思う	8
思わない	0
どちらともいえない	0
計	8



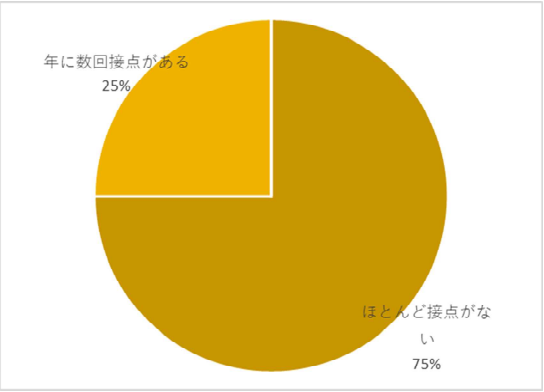
8.　その他、全体を通じた感想やコメントをご記入ください。

- 初めからワクワクして、回を重ねるごとに色々な方の意見を聞けてすごく刺激を受けました。私は「自分ごと化」というワードがすごく素敵だと思います。でも中々、自分のこととして考え行動することはきっかけがなく、もっと考えて自分ごと化して行動するようにしたいと思います。
- 自分が住んでいる町について、初めて知ったことや、他の年代の方の話を聞いて、いろいろな方法があって興味を持つことができました。町民目線や町外の方の目線で三原城址を変えていけたらと思いました。
- 前回も楽しく参加できたが、今回も楽しく参加できた。また機会があれば参加したい。
- 色々な刺激を受ける時間を過ごせて、楽しかったです。テーマが少し難しかった。
- テーマが難しかった。このテーマであれば、いつも通りの時間回数ではなく、時間がかかると予測して日程感を変更した方がよかったかと思う。貴重な回でしたありがとうございました。
- 行政と住民の話し合いの場がもたれることは素晴らしいが、会議の時間が短く、意見がまとまりきらない印象。振返りの時間やゲストの発言などもあり、住民の話し合いの時間が短く結局答えが出ないまま終わってしまうように感じた。出席人数が徐々に少なくなっていた。欠席の理由は分からないが、開催曜日、時間設定が良くなかったかもしれない（翌日が仕事等の方が多かった）。もう少し余裕のある時間設定で、住民の意見が出やすい時間を増やせるとよい。

9.　あなた自身のことについてお答えください。

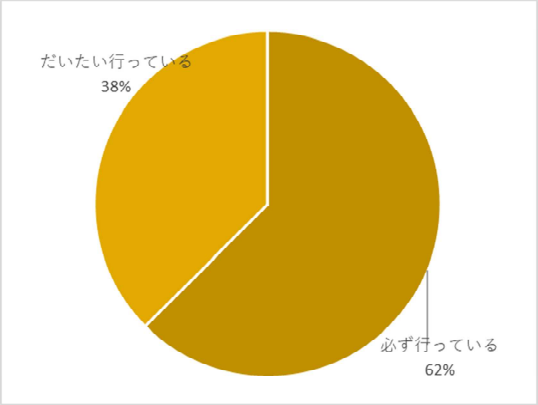
①　これまで行政とどの程度の接点がありましたか。

回答	件数
ほとんど接点がない	6
年に数回接点がある	2
頻繁に接点がある	0
その他	0
計	8



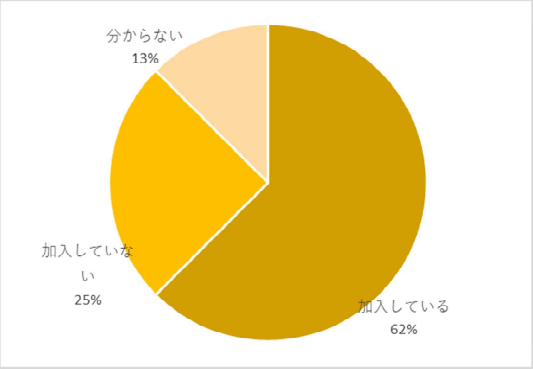
② 選挙の投票にはどの程度行っていますか。

回答	件数
必ず行っている	5
だいたい行っている	3
ほとんど行かない	0
行ったことがない	0
18 歳未満で選挙権がない	0
計	8



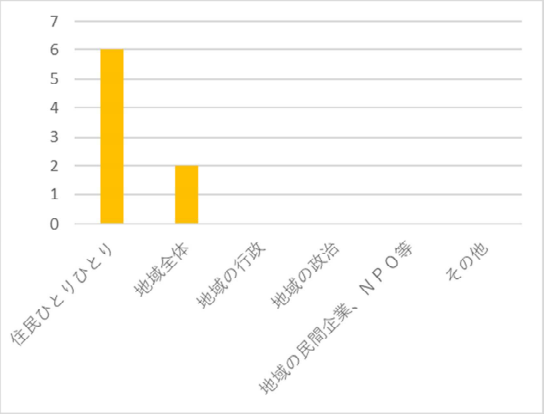
③ 地域の自治会には加入していますか。

回答	件数
加入している	5
加入していない	2
分からない	1
計	8



④ 町を住みやすくするために最も主体的に行動すべきだと思うものは次のうちどれですか。

回答	件数
住民ひとりひとり	6
地域全体	2
地域の行政	0
地域の政治	0
地域の民間企業、NPO	0
その他	0



4.3 中学生アンケート

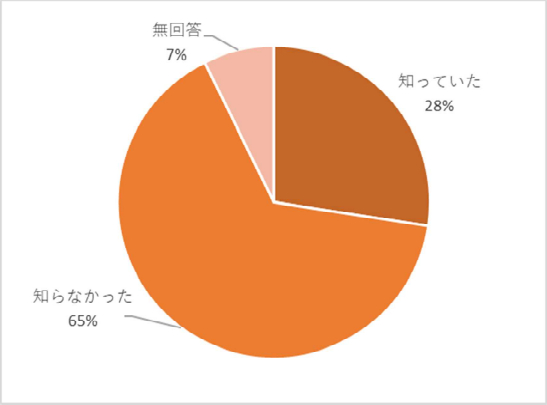
対象者：大刀洗中学校生徒

回答数：343

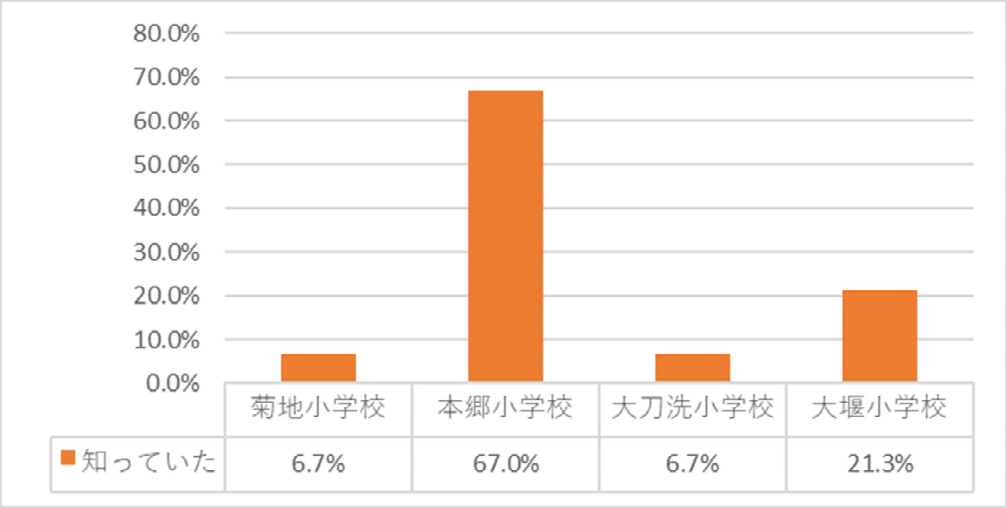
【佐々木家住宅/三原城址に関する質問】

1.　この施設を知っていましたか？

回答	件数
知っていた	94
知らなかった	224
無回答	25
計	343



（参考：出身小学校別結果）



2.　施設の説明を聞いてどう思いましたか？（施設の印象など）

- この施設についての歴史についてはあまり知らなかったので初めて知れてとても興味深かった。
- すごい建物なのに知っている人が少ないのは悲しいと思いました。
- サマーウォーズに出てくる大きな屋敷みたいだなと思いました。歴史ある風潮で部屋も多く、すごくいいなと思いました。めっちゃ好きです！
- すごく綺麗で後世に残すべき施設なのではないかなと思いました。

- 道路側から見るより広すぎてびっくりしました。
- 塾に行く時とかにいつも通るところなので昔豪族がいたと知ってびっくりしました。
- 明治や昭和にタイムスリップしたような感じだった、自然がとてもきれいだった。
- 大刀洗には、歴史的な建物は飛行場しかないと思っていたけど、こういう施設があると聞いてすごいなと思いました。古くからあるけどとてもきれいだなと思いました。
- とても広くて、自分が住んでいる地域に歴史のある建物があることが分かって良かったです。

（一部抜粋）

3. この施設で何をしたいですか？

- 一回暮らしてみたい。
- 庭をゆっくりと見たい。
- お茶会
- 写真撮りたい
- 三原城跡で歴史などについての学習会などをしたい。
- かくれんぼや見学をしたい。
- 昔の遊び
- 見学をしたいし少し遊んでみたい気もする。
- 城跡の建っていた場所を自分の目で確かめてみたい。
- ゴロゴロしたい。
- 本郷は、お店があまりないのでカフェなどのお店にしたらいいと思った。
- お店→食事を提供して、地域の人や観光で大刀洗町を訪れた人などの交流の場になってほしい。
- 写真撮影場→結婚やお祝いの日などに、着物を着て、日本らしい写真が撮れる。（お孫さんの写真がとても素敵だった。）
- 高齢の方と若い人であったり色々な世代のひとが触れ合う。

（一部抜粋）

4. 10 年後にこの施設がどのようになっていて欲しいですか？

- もっとみんなに知ってもらいたい。
- これからもずっと続いていてほしい。
- これからも受け継がれて欲しい。
- 今の状態を保っていてほしいなと思います。
- 何も変わらないでほしいです。

- 地域の歴史がわかる博物館
- 色んな人が知っていて大刀洗の有名な場所になってほしい。
- 大刀洗町に住んでいる人がみんな知っていて、福岡県でも有名な場所
- これからの人達に大刀洗町の歴史を伝える施設になって欲しい。
- みんなのいえ
- 遊び場になってほしい。
- 公園や遊べる施設
- お店になってほしい。
- 観光スポットになってたくさんの観光客がきてほしい。

（一部抜粋）

【大刀洗町に関する質問】

1. 町にどのような施設が欲しいですか？

- ショッピングモール
- 遊園地
- 本屋
- カフェ
- 公園
- 図書館
- 映画館
- 雨の日でも遊べる施設
- 近場でみんなで楽しく遊べたり買い物ができる大きな施設
- 大刀洗小学校の校区内に公園がなくゲームをするしかなかったので今の小学生が遊べるような施設があってほしいと思います。
- みんなが勉強できるような場所
- ペットも一緒に入れるお店(喫茶店など)
- 地域の方々と触れ合えるそんな施設
- 街の特産品を使った美味しいスイーツのあるカフェ
- 飲食店が菊池にたくさんあるので、本郷や、大堰などにも欲しい。
- 今のままでもいいと思います。

（一部抜粋）

2. 町の行事（イベント）で好きなものや参加しているものは何ですか？

- ドリームまつり
- 本郷のふれあいまつり
- ふれあい祭りが好き
- 枝豆収穫祭

- ひばりロードマラソン
- 大刀洗公園の夏祭り
- 資源回収
- ホタルまつり
- 特にない

（一部抜粋）

3. 町の好きなところはどこですか？

- 空気がきれいなところ
- 自然豊かなところ
- じいさんばあさんが挨拶してくれること
- 地域の方々はとても優しく気軽に話かけられるそんな大刀洗町が大好き。
- 町の人が優しい
- 災害があまりないこと
- 治安がいい
- 静かなところ
- 色んな歴史があって、自然が多くて、食べ物が豊富で、給食が美味しいところ
- 枝豆が美味しいところ
- 地域の人と関われるところ
- 町の人同士の距離が近く、とても過ごしやすいところ。狭い町ではあるけど、イベントが充実していたり、学校の色々なものにお金をかけてもらったりしているところ。
- 名前がかっこいいところ。
- 夕日が綺麗。少子高齢化がなく、人口が増えていっている。

（一部抜粋）

5　参加者一覧

（第４回参加者一同）

【委員】

木﨑　心梨	棚町　真衣	江口　陽菜	中村　拓磨
棚町　悠加	須﨑　琢朗	青木　茜	坂田　美咲
樋口　広大	馬場　亜弥	土山　美穂	龍　紗織
加行　ゆい香	平田　未来	松岡　未来	黒岩　真謙
元杭　優子	灰塚　崇	日野　周平	林　純江
髙﨑　隆	森山　勉	今村　直子	織田　美子
東　俊明	赤司　潤治	北島　都志子	

【コーディネーター】

- 桑子 幹弘 氏（群馬県太田市職員、構想日本外部協力者）
- 田中　俊 氏（構想日本外プロジェクトマネージャー）

【ナビゲーター】

- 北島 力 氏（ＮＰＯ法人まちづくりネット八女）
- 片岡 宏二 氏（小郡市埋蔵文化財調査センター所長）